



日本共産党佐々町議会議員

## 永田かつみの 議会報告

3月議会

### 2020年 (令和2年)度 佐々町一般会計予算に反対

新型コロナウイルスが広がる中で、3月定例会が開催され、2020年度の町の予算が成立しました。

日本共産党の永田勝美町

議会議員は、予算に反対の討論を行いました。

①中学校のトイレ洋式化改修が盛りこまれたこと ②医療ケア児の保育所受け入

れに努力したこと ③今回

のコロナウイルス対策では、学童保育の受け入れを積極的に支援してきたことなどについては、「評価する」としました。

しかし、一方で議会のた

びに質問が繰り返されてきた以下のような、町民要求課題の前進がない事は、大変遺憾として反対するとし

ました。

(以下、反対討論の要旨)

(1) 地域交通・町内循環

バス実現に向けた取り組み

地域福祉計画は出来た

が、何も具体化が進んでい

ない。タクシー券助成も、

消費税が引き上げられ、

低所得世帯ほど負担が重く

なっている。学校給食無償

化は、前向きな検討すら行

われていない。

消費税引き上げとともに

当初は佐世保市への受け

入れ要請を繰り返し、独自

の検討をせず、安易な大規

模修繕計画に多額の予算を

投入する。しかも、議会と

して先進地視察など行っ

## コロナ対策・自粛と補償はセットで

### いますぐ給付を行い、 大流行にストップを

新型コロナウイルスの蔓延が世界的規模で進んでいます。日本でも東京をはじめとして、日に日に患者数が急増しています。4月7日政府は、「緊急事態宣言」

を行い、国民に自粛を求めています。一方で、「自粛

したいけど、暮らしていけない」と、営業を続けるどころも少なくありません。

すでに、非正規労働者の

「派遣切り」や、小規模企

業の廃業・倒産が急増して

います。

いま、「自粛と補償はセ

ットで」という声が大きく広がっています。また、30万円の支援が受けられるのは、国民の2割の世帯に過ぎず、給付も5月になるといわれていま

す。いますぐ、給付を実行

することが急務となっております。

日本共産党が3つの提案

①国民に一律10万円を緊急に給付する。

②抜本的・継続的な補償で

毎月の生活を支える。

③経済対策としては消費税

を5%への緊急減税を行う事を求めています。

### ハウステンボス派遣切り 住宅補償を

去を求められている問題

日本共産

党の清水忠

史衆院議員

は、4月7

日衆院地方

創生委員会

で、ハウス

テンボスで

働く派遣社

員が解雇さ

で、質問しました。

清水議員はリーマンシ

ック時につくられた「離職

者住居支援給付金制度」を

復活して、寮に住み続けな

がら職探しが出来よう求

めて、北村地方創生大臣に

質問しました。北村大臣は

「リーマンに負けない手当

を取っている。これを活用して欲しい」と述べるにとどまりました。

「コロナ対策・心配事・お困りのこと  
などお寄せください。」

くらしの展望をひろく「しんぶん赤旗」を、この機会に是非お読み下さい。

日刊紙は3497円 日曜版は930円です。  
お申し込みは、永田町議まで。☎0956・37・8837